

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
令和元年度 第1回 定時理事会
議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
令和元年度第1回定時理事会議事録

日時 令和元年5月10日（金）
午後1時20分 開会
場所 調布市武者小路実篤記念館
地下作業室

出席理事（5人）

| | |
|------|--------|
| 理事長 | 武者小路知行 |
| 常務理事 | 大木正勝 |
| 理事 | 柏原公毅 |
| 理事 | 安本登喜子 |
| 理事 | 濱嶋稔 |

出席監事（2人）

| | |
|----|------|
| 監事 | 新井七吾 |
| 監事 | 源後哲郎 |

| | |
|-----|-----|
| 相談役 | 福田宏 |
|-----|-----|

| | | |
|-----|-------|-------|
| 事務局 | 事務局長 | 福島さとみ |
| | 次長 | 伊藤陽子 |
| | 総務係主任 | 石井めぐみ |

陪席

| | | |
|-------|----|------|
| 郷土博物館 | 館長 | 小林正雄 |
|-------|----|------|

（午後2時37分 閉会）

[議事次第]

－理事長挨拶－

第1 議題

(1) 審議事項

- ア 議案第1号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- イ 議案第2号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- ウ 議案第3号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- エ 議案第4号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- オ 議案第5号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- カ 議案第6号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について
- キ 議案第7号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について
- ク 議案第8号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算（案）の承認について

(2) 報告事項

- ア 報告第1号 令和元年第2回調布市議会定例会に提出する一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について

第2 その他

○事務局長　それでは、定刻よりも少し早いんですけれども、皆様そろわれましたので、これより令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の第1回定時理事会を開催させていただきます。

さて、本財団法人は本年4月から調布市武者小路実篤記念館の指定管理者として第2期目をスタートしました。第1期の5年間に比べますと、第2期は10年間と受託期間は長期になります。今後とも第1期と変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、お手元には展覧会等の資料を配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは、初めに武者小路理事長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

○武者小路理事長　どうもお疲れさまでございます。何か気候のほう暑かったり寒かったり変動が大きくて体がついていくのがちょっと大変かと思えますけれども、皆様も健康のほうご留意いただいて、先ほどお話がありましたとおり、指定管理者10年今度続きますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

○事務局長　はい、ありがとうございます。

それでは、理事会の開始に当たりまして、議長は一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款第33条の規定により理事長が行うこととなっております。

それでは、武者小路理事長、これから議事進行をよろしくお願い申し上げます。

○武者小路理事長　では、議長を務めさせていただきますので、議事進行に関して皆様のご協力をお願いいたします。

まず初めに、本会の定足数について事務局から報告をお願いいたします。

○事務局長　はい。本日の理事会は、理事6名中5名の理事が出席しており、定足数を満たしております。このことから一般財団法人武者小路実篤記念館の定款第34条の規定により本理事会は成立していることをご報告いたします。

なお、本日は監事お二人にもご出席いただいております。また、本日は、主管課でございます調布市郷土博物館の館長の小林館長が陪席させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○武者小路理事長　それでは、審議に入ります前に、今期理事が本日の

定時評議員会をもちまして2年間の任期満了となります。理事の皆様、大変ご苦労さまでございました。

それでは、次に、本理事会の議事録の署名につきまして、一般財団法人武者小路実篤記念館の定款第37条の規定により理事長である私、武者小路知行と本日出席されている監事のお二人、新井七吾監事、源後哲郎監事をお願いすることといたします。

続きまして、議事次第のとおり議事を進めてまいります。

まず初めに、議案第1号から第6号まで「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」を議題といたします。全て本日の定時評議員会に提出する候補の審議でありますので、一括説明としてお願いいたします。

○事務局長 はい。それでは、議案第1号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」から議案第6号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」まで一括してご説明させていただきます。

説明に入ります前に、今回理事候補者6名の名簿を皆さんのお手元に配付させていただきました。説明に従いましてごらんいただければと思います。

なお、理事候補者6名の方については既に前回履歴書等によりご紹介申し上げておりますので、今回は経歴のご紹介は割愛させていただきます。

それでは、説明させていただきます。

これまでの理事の任期が2年で、本日令和元年5月の定時評議員会までとなっております。理事会での理事の任期満了に伴い改めて理事候補者を決議いただいた後、その候補者について評議員会で議決をお願いするものでございます。

理事候補者名簿の上から順に、議案第1号の理事候補者は武者小路知行氏、議案第2号の理事候補者は大木正勝氏、議案第3号の理事候補者は柏原公毅氏、議案第4号の理事候補者は岩本宏樹氏、議案第5号の理事候補者は安本登喜子氏、議案第6号の理事候補者は濱嶋稔氏でございます。理事候補者6名いずれもこれまで理事をされてこられました。改めて理事候補者としてお願いいたしたく、よろしくご検討のほどお願いいたします。

説明は以上でございます。

○武者小路理事長 ただいま事務局から議案1号から議案第6号までの説明がありました。

それでは、まず初めに、議案第1号「一般財団法人武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 武者小路知行について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長 特にありませんということですが、それでは、異議なしと認め、議案第1号「一般財団法人武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」承認することといたします。

次に、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 大木正勝氏について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長 それでは、異議なしと認め、議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」は承認することといたします。

次に、議案第3号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 柏原公毅氏について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長 それでは、異議なしと認め、議案第3号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」は了承することといたします。

次に、議案第4号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 岩本宏樹氏について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長 それでは、異議なしと認め、議案第4号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」は了承することといたしました。

次に、議案第5号「一般財団法人武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 安本登喜子氏について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長 それでは、異議なしと認め、議案第5号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」は了承することといたしました。

次に、議案第6号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者 濱嶋稔氏について」ご質問はございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長　それでは、異議なしと認め、議案第6号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について」は了承することと決定いたしました。

続きまして、議案第7号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局次長　議案第7号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」。

上記の議案を提出する。令和元年5月10日。提出者、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認を求めるため、提案するものであります。

それでは、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）をお手元でごらんいただきながらご説明を申し上げます。

1 ページ目、概要でございますけれども、平成30年度は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館が発足して6年目、指定管理者としての業務は5年目の指定管理期間最終年度でございます。

設立理念に基づいてこれまでの実績などを生かしながら、市民が誇る文化の拠点として、また、教育・文化の場となるように努めてまいりました。組織運営面におきましても、効率的、安全継続性のある運営を構築するよう努めてまいりました。

その下のところに事業目標が掲げてございます。

それでは、30年度に実施した事業につきまして主要なものをご説明してまいります。

8 ページ以降、表をごらんいただきながら説明してまいりたいと存じます。

展示事業でございます。

表の一番上から2段目になりますが、春の特別展「誰でも画はかける」～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～を開催いたしました。小池邦夫さんは絵手紙作家として活躍されておりますが、監修をいただいて開催ということで、このような試みは初めてでございました。絵手紙の会員の方々など新しい層の見学につなげることができました。

秋の展覧会いたしましては、新しき村が100周年を迎えるということでそれを記念いたしまして、「新しき村の100年」を開催いたしました。

8ページの表の中ほどのところにございます。実篤の仕事の柱の一つである文学と美術と新しき村ということですが、そちらの新しき村の歴史と、それから、実篤の考え方、それから、評価などについて紹介する展覧会といたしました。こちらは新しき村自体の100年ということの話題と、それから、コミュンに関心のある方々という新しい層の見学につながる形になりました。

その100年の特別展に合わせまして、調布市文化会館たづくりの展示室と連動する形で「新しき村美術展」を開催いたしました。こちらは新しき村の会員と実篤の美術作品を主に展示いたしまして、新しき村が社会活動としてだけではなくて、個性発揮、それから、自己表現という面を持っていることについての紹介という形で展覧会を開催いたしました。本日お配りした中の参考資料1の1ページ目のところに移動展の様子が写真で掲載してございます。

次に、普及事業でございます。事業報告（案）の9ページからが表になっておりますので、こちらをごらんいただきながらご説明いたします。

講演会・講座等事業につきましては、平成30年度は24件、36回の開催をいたしました。このほかにスタンプラリーであるとか、鑑賞を促進するための工夫などを行っております。

春の特別展では監修者による講演会を開催し、展示と普及活動の効果的な連携となりました。

秋は、秋の特別展とたづくりの移動展に合わせましてさまざまな普及事業を行いました。

10ページをごらんいただきたいと思います。

平成29年度から撮影を行ってまいりました映像を作品化して、創立記念日である11月14日に上映し、さらにあわせて新しき村の会員からお話を聞く会を開催いたしました。

そのほかに文学講座であるとか、映像の視聴会であるとか、そういったものを開催して、展覧会だけではわからない、表現し切れない部分についての理解が深められるようにいたしました。表は10ページの中ほど、それから、参考資料1の2ページのところに行事の写真などがございます。

記念館での特別展とたづくりでの移動展が同じテーマで連携しておりましたので、両方を見ていただきたいと思いますということで、2つの会場をつなぐ動機づけとしてスタンプラリーを行いました。

それから、平成29年度に引き続きましてオンラインゲーム「文豪とア

ルケミスト」とのタイアップ企画ということで両方の会場にパネルなどの展示をいたしました。これによりまして二、三十代の女性の見学者などが訪れる動機づけということになりました。

このスタンプラリーとタイアップ企画につきましても参考資料 1 に会場などの写真が載っています。

それから、他の自治体や近隣の美術館との連携を進めまして、これまでも参加しておりました多摩川流域自治体交流イベントラリーに加えて、府中市美術館、小金井市立はけの森美術館と実篤記念館の 3 館でのスタンプラリーを開始いたしました。こちらは参考資料の 2 ページ目の下のほうに写真を掲載しております。

次に、学校教育との連携でございますが、11 ページから 12 ページに表にまとめてございます。

平成 30 年度に主に特徴的なことをご説明申し上げますと、夏休み行事の案内チラシを全生徒配布しておりますが、この表紙の制作をこれまで第四中学校に依頼しておりましたが、連携先を広げまして第六中学校の美術部の部員の生徒さんに描いていただきました。こちら参考資料 1 の 3 ページ目のところにピンク色のチラシの写真が載っておりますので、それをごらんいただければと思います。

それから、新たな取り組みといたしまして、第四中学校の部活動の協力を得まして、3 月に吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会を開催いたしました。部活動の成果発表ということができまして、中学生と地域の人々の触れ合う機会となりました。吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会につきましても参考資料 1 の 4 ページ目、最後のページのところに写真を掲載させていただいております。

次に、ボランティア事業でございます。13 ページになります。

平成 30 年度当初の登録者が 26 人ございました。ボランティアガイドは、利用者、ボランティアともに満足度が高く、平成 30 年度につきましては原則として土曜・日曜を交互に行う形で実施いたしました。

環境整備グループにつきましては、平成 29 年度の後半から実篤公園菖蒲園の手入れを始めたんですが、これを継続したことで開花数が増えて来館者から好評を得ることができました。

次に、友の会事業でございます。13 ページの最後のところでございますが、平成 30 年度の会員数は 71 人です。隔月でニュースの発行をいたしました。

次に、広報事業でございます。14ページ、15ページをごらんいただきながらご説明いたします。

広報、情報提供は前年に引き続き適切な発信と内容の充実に心掛けてまいりました。

特徴的な部分といたしまして、15ページの上の段ですが、印刷編集・刊行の事業につきまして、新しき村の100周年特別展の図録を今後とも活用できる記録とするために100ページ余りのものとして発行いたしました。こちら参考資料1の2ページのところに写真を掲載いたしております。

ホームページは年間通して更新などを行ってまいりました。

ぐるっとパス事業につきましても、平成30年度も東京ミュージアムぐるっとパス2018に参加いたしました。利用者数が644人ということでございます。

それから、次に、16ページから17ページにかけてでございますが、資料収集・管理事業でございます。

16ページのアのところでございますが、平成30年度の収集はこのような数となっております。特徴的なものといたしましては、河出書房の編集者だった方からゆかりの資料・作品など67点、署名本なども含みますが、そういったもののご寄贈がございました。購入といたしましては、新しき村関係の資料の購入が主となっております。

続きまして、資料の整理・保存でございます。18ページ、4番になります。

平成30年度の主な動きといたしましては、この表に出てくるものではないのですが、旧武者小路実篤邸の国の登録有形文化財の登録に向けて郷土博物館と連携して対応し、成果といたしまして平成30年11月に登録をされました。

このほか、18ページ、下のほうのイのところに修復などがございますが、こういった傷みなどのある作品の修復、複製制作などを行いました。

次に、19ページのウ、データベースについてでございますが、所蔵品データベースの登録件数が4万896件と前年に対して519件の増加、また、利用者数が457万8,088件なんですが、前年度から倍近いアクセスがあるという状況でございました。前年の後半からゲームなどの関係で利用に入ってきた方々などの利用が増えてきていて、それが継続しているものかと考えられます。

閲覧サービス、それから、情報公開事業でございます。19ページから20ページになります。

閲覧サービス、19ページの閲覧サービスの表をごらんいただきたいと思います。利用者数が4,240人で前年から少し減少となっているんですけども、平成29年度はゲームとのコラボレーションによりまして入場者数が一時的に非常に増大しております。この平成29年度と平成30年度に関しましては入場者数に対する閲覧利用者の割合はほぼ同じです。43%程度が閲覧室を利用させていただいております。

次に、20ページでございますが、20ページの6番、調査・研究事業でございます。調査・研究につきましては非常に件数が多いんですが、主なものといたしましては、特別展が平成30年度にございました新しき村について、平成29年度から引き続き資料の調査、それから、新しき村の現状の記録などを行ってまいりました。

また、調布市が映画の町であることを踏まえて、過去に映画化された実篤の文学作品に関する資料の調査を集中的に行いました。いずれ調査の結果を生かして展覧会につなげてまいりたいと思います。

それから、平成29年度から借用しております長與善郎に関する資料の整理と調査を進めました。こちらが22ページまで一覧にしております。

次に、自主事業でございます。23ページをごらんいただきたいと思います。

ここでおわびと訂正なんです、この物品販売事業のところの下から4段目、トートバッグのところの制作時期というのが誤字になっておりまして、これは「平」という字が出てしまっているんですが、これは正確には12月ということで、訂正が間に合いませんので、申しわけございませんでした。

自主事業、アの物品販売事業でございますが、毎年行っておりますバレンタインシーズンのチョコレート、限定チョコの販売ですが、反響が大きく、平成29年度2,500個から500個増やしまして総数3,000個で行ったんですが、市内で販売した2,500個については6日間での完売ということになりました。

それから、来館者アンケートなどでずっとミュージアムショップについて評価がやや高かったということがございました。それから、平成28年、29年度のミュージアムアドバイザーからもご指摘受けておりましたので、ミュージアムショップのリニューアルを実施いたしました。

これによってショップ空間の魅力が上がりまして、販売も順調ということでございます。

23ページ、下の段、自主事業でございますが、桐朋学園大学、それから、先ほど学校連携でもご紹介いたしました第四中学校の部活との協力で2回のコンサートを行ったということ、それから、朗読ワークショップの開催をいたしました。

24ページでございますが、広告のところ、仙川駅前でございます案内看板に案内広告の掲載をいたしました。こちらもお配りした参考資料1に状況の写真を掲載しております。

24ページ、施設管理運営事業でございます。平成30年度は開館日数が308日、利用者総数が9,895人でした。

25ページに一覧表になってございますけれども、利用総数でございますが、平成29年度の1万1,233人に対して1,338人減少はしているんですけれども、これは利用者数が前年のアルケミストとのコラボのとき、2,500人8月に増えているので、それに比べれば少ないということだと思います。平成29年度はちょっと特殊ということで、通常の年度と比べますと、平成27年度が9,956人でしたので、ほぼ差がないということだと思います。本日お配りした参考資料の2に3年間の利用者推移がございますので、それで対比をごらんいただけたらと思います。その場合なんです、平成28年度は空調改修工事で11月から3月の間、休館しておりまして、比べにくい部分があるかと存じます。

それでは、戻りまして、6ページをごらんいただきたいんですけれども、指定管理業務としての実篤記念館の施設管理運営でございますけれども、平成30年度は主なものといたしまして、3カ年計画で行ってきた収蔵庫の二酸化炭素消火装置のガス弁の交換が最後の3年目でございますので、こちらを実施いたしました。また、展示室床の木ブロックの目地の補修、それから、雨漏り修繕などが主な修繕となっております。

それから、平成30年度につきましては、隔年で実施しております環境調査を行いまして、収蔵環境、展示環境の状況の把握をすることで保全に努めてまいりました。

日常的な管理につきましては27ページと28ページに表がございます。それから、修繕につきましては30ページに一覧にしております。

また、平成30年度はミュージアムアドバイザーがつきまして、施設・設備の運営管理についてのアドバイスをいただきました。本日お手元に報

告書をお配りしておりますので、詳しくは後ほどその報告でご説明をさせていただきます。

戻りまして、7ページの実篤公園の日常管理でございますが、緑と公園課から受託して5年目となります。公開に関する業務、それから、日常管理、それから、あと、状況の把握に努めまして、必要に応じて緑と公園課に報告するとともに協力して対応に努めてまいりました。

また飛びますが、24ページをごらんいただきますと、こちらに日常管理に関する部分で利用者数などが記載してございます。開園日数が307日、利用者数が2万8,489人でした。旧邸公開では106日の公開日、利用者が4,109人でございます。

25ページの利用状況をごらんいただきますと、実篤記念館と公園の利用者を合計しますと3万8,384人ということでございます。こちらも先ほどと同じなんですが、ゲームとのコラボレーションの関係で平成29年度が一時的に増大しておりましたが、比較するといたしますと、平成27年度が通常でございましたので、平成27年度の通常の状態での利用状況からしますと、少しですけど、増加ということになります。

公園の日常管理につきましては28ページに一覧にまとめてございます。

もう1回、7ページに戻っていただきたいと思います。職員の人材育成でございますけれども、平成30年度は、これまでも事業係は研修などに参加しておりましたが、平成30年度につきましては総務系の職員につきましても研修などへの参加を進めてまいりました。学芸員に関しては館内での先輩学芸員からの知識や技術の継承も引き続き行ってまいりました。

それでは、26ページ以降の資料についてご説明をいたします。

まず、26ページでございますが、こちらは入館料、それから、特別撮影の利用料、頒布料の収入の報告でございます。

それから、31ページと32ページは役員の名簿、それから、理事会と評議員会の開催の内容の報告となっております。

それから、本日お配りいたしました資料の中に利用者アンケートの報告がございます。館内に設置したアンケートとメールなどで寄せられたご意見・ご要望・苦情などをまとめたものでございます。アンケートの回収率は14.23%程度ということで、アンケート自体が来館初めての方が書かれるケースがあるので、少々傾向に偏りがあるかもしれません。

平成29年度以降でございますが、アンケートの回収率もよくなったということ、それから、女性の割合がやや増えたということ、それから、年

齡的に言いまして20代、30代の割合が平成28年度以前は1割に満たなかったんですが、2割近くになっているということ、それから、2ページ目の7の情報のところなんです、平成28年度ですと17%程度だったものが24.5%と上がっているということで、そういった傾向が見えてまいります。

それから、4ページ目の11の今後希望するテーマですが、文学とか、白樺、交友関係などが上がっていきまして、こちらも新しい利用者の希望がこういうところにあらわれているかと思われまます。

あわせて、アンケートに書かれた要望などについてもまとめたものをおつけしておりますが、重複するものもございますので、内容的に66件を取り上げてまとめました。苦情が6件、要望が16件です。それ以外は励ましとか、お褒めの言葉などが多くいただいております。

簡単でございますが、事業報告は以上でございます。

○武者小路理事長　どうもありがとうございます。

ただいま議案第7号の説明がありました。ご質問等ございますか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長　特にございませんか。

それでは、異議なしと認め、議案第7号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」は了承するということと決定いたします。

続きまして、議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書（案）の承認について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局長　議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算（案）の承認について」。

上記の議案を提出する。令和元年5月10日。提出者、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認を求めるため、提案するものでございます。

それでは、今回A3で大きくしておりますので、折り畳んで見にくいかと思いますが、ご説明をさせていただきながら、ごらんいただければと思いますが、平成30年度収支決算をごらんいただいて、本財団の決算につきまして公益法人会計に準拠いたしました財務諸表によりご説明させていただきます。

まず、1ページをごらんいただきたいと思います。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの収支決算書でございます。一般会計と特別会計を分けて作成しており、左から予算額、決算額、差異、説明としては主な収入や支出の内容をあらわしております。説明の欄に収入・支出の主な内容について記載しておりますので、差異の大きな項目を中心にご説明させていただきたいと思います。

まず、一般会計、Ⅰ事業活動収支の部（事業活動収入）でございます。

1 補助金等収入8,650万5,000円、差異はゼロでございます。市からの人件費、それから、財団運営にかかわる事務費の補助金でございます。

2 指定管理料収入です。2,809万5000円です。これは市よりの指定管理業務に対する収入でございます。

3 受託事業収入でございます。予算額717万7,000円に対し決算額が655万2,000円、差異は62万5,000円となります。実篤公園の日常管理の受託事業に加え、2 展覧会の受託ということで予算化させていただきました。これは当初宮崎県の木城町が新しき村100年のための記念事業をされるということで展覧会の受託のお話でしたが、木城町のご都合の関係で年度途中で事業変更のために受託しないことになりましたので、ゼロ円ということで、差異が62万5,000円となっております。

次に、4 利用料金収入でございます。予算額130万に対して決算額は176万4,840円、差異は46万4,840円でございます。実篤記念館の利用料と頒布料収入でございまして、予算額に対して135.8%になっております。利用料収入は比較的堅調な利用者数が伸びたということ、それから、頒布料収入としては春の特別展のパンフレット、秋の特別展のパンフレットともに好評いただきまして予算編成時に想定した金額より多くございましてこのような伸び幅になりました。

5 諸収入でございます。予算額74万に対して決算額83万1,364円、差異は9万1,364円でございます。雑収入として9万1,640円ということが差異でございますが、自販機の飲料等の売り上げの収入が増えたということで比較的堅調な金額になっております。

以上をもちまして事業活動収入の合計が、予算額1億2,381万7,000円に対して決算額が1億2,374万8,204円ということで6万8,796円の差異でございます。

次に、（事業活動支出）でございます。

1 管理費支出でございます。財団運営にかかわる人件費と事務費にかかわる支出でございます。予算額8,650万5,000円に対し決算額は8,320万336円、差異330万4,664円でございます。これにつきましては残額を全額市へ変換するということになっております。

1 人件費支出でございます。差異が大きいところで申しますと、社会保険料が1,114万3,000円に対して決算額が982万116円ということで差異が132万2,884円でございます。執行率としては88.1%ということでございます。特に社会保険料に関しては主に社会保険料の給与月額が予定より伸びなかったということと、健康保険料と介護保険料の減額、それから、雇用保険の対象者が1名減になったというところが比較的差が大きいことになっております。

また、旅費に関しては、長距離の旅費が発生しなかったということで26万1,882円の差異ということになっております。

2 事務費支出でございます。予算額は1,016万8,000円、決算額は951万1,263円、執行率が93.5%でございます。残金は全額市に返金いたします。

差異が大きいところで申しますと、負担金の20万9,600円でございます。これはぐるっとパスの返還金が15万円でございます。それが1年ごとの実行委員会形式で当初15万負担金を払った後、年度末に精算でございます。15万円が戻ってまいりました。このため、15万円を最後に戻し入れしていることから予算の残額がこの金額になっております。

次に、公租公課でございます。33万7,000円の予算額に対して16万3,482円、差異が17万3,518円、一般会計分の消費税15万1,899円が主なものでございます。一般会計の消費税でございますが、一般会計からは指定管理料や受託事業収入、利用料収入、諸収入が消費税の対象となっております。総額に対して課税収入の割合で特別会計と分けております。平成30年度の決算では一般会計が86.75%、特別会計が13.25%になります。昨年、高鍋町の展覧会を受託したことやグッズの売り上げ等で非常に消費税が高かったんですけれども、比較的前年以前の金額に戻ったということでこれだけの金額が残っております。

繰出金7万円、これは法人税の一括支払いのための均等割の分で特別会計より一括で払うためにそちらに繰り出すものでございます。

次に、2ページをごらんいただきたいと思います。

2 事業費支出でございます。事業費支出の合計は予算額 1,689 万 9,000 円に対して決算額は 1,629 万 4,518 円となり、差異は 60 万 4,482 円で、執行率は 96.4%となりました。

普及事業支出に関しては 98.2%の支出でございます。その中で比較的多く差異がありますのは使用料及び賃借料。これは展示作品の借用料や著作権や会場使用料にかかわる費用でございますが、新しき村のご協力により新しき村美術館の作品借用料が免除になったということでこれだけの金額が残ったものでございます。

2 資料管理事業費支出に関しては差異が 2 万 702 円ということで、98.8%の執行率。

3 情報提供システム事業費支出でございます。こちらも差異が 5 万 5,833 円ということで 98.3%の執行率となっております。

4 受託事業支出は、先ほど申し上げましたように、木城町の受託事業が計画変更となりましたので、実施しなかったということで全ての支出がゼロ円となっております。

3 施設管理費支出でございます。予算額が 2,036 万 3,000 円に対して決算額が 2,028 万 5,349 円、7 万 7,651 円の残でございます。執行率は 99.6%でございます。

1 施設管理運営事業費に関しては実篤記念館の施設管理にかかわる費用でございます。こちらは 99.8%の執行率。

2 実篤公園管理事業費、こちらは執行率 99.1%ということで、主にシルバーに対する実篤公園の日常管理業務、それから、警備、清掃に関する委託費の支出でございます。

以上をもちまして事業活動支出の計が予算額 1 億 2,376 万 7,000 円に対して決算額が 1 億 1,978 万 203 円、差異は 398 万 6,797 円でございます。

そして、事業活動の収入に対してその差額でございます。収支差額が、予算額の 5 万円というのは、これは予備費分に当たりますので、後ほど引かれます。で、決算額に関しては 396 万 8,001 円ということでございます。

次に、投資活動収支の部、これは収支ございません。

また、財務活動収支の部でございます。返還金でございます。先ほどの収支残額の 396 万 8,001 円、これは市への返還金ということで補助金、指定管理料、実篤公園の日常管理料の収支残額を市に返還するもので

ございます。

次に、３ページをごらんください。予備費でございます。予備費支出５万円の予算額に対して決算額はゼロで差異は５万円でございます。

当期収支差額は以上をもちまして予算額、決算額、差異ともゼロ円でございます。

次に、前期繰越収支差額でございます。予算額はゼロでございますが、決算額は１３万２,５６９円でございます。これは平成２９年度の受託事業の展覧会の支出残額分ということで昨年度からの繰越金ということで、次期繰り越しもこの金額が繰り越されます。

２特別会計でございます。

特別会計は物販事業が中心、自主事業のものでございまして、平成３０年度４月１日から平成３１年３月３１日までの特別会計の収支決算額です。

Ⅰ事業活動収支の部でございます。１自主事業収入でございます。決算額が５６７万９,６３０円となりました。

物品販売事業では予算を平成２９年度文アルコラボの規模に対応できるようにしたこと、当初ミュージアムショップの改修費用を繰入金での対応を予定しましたが、決算では投資活動収支で対応となりましたので、繰入金の決算額はゼロ円になったことで差異が３１５万５,３７０円という形になっております。

それから、（事業活動支出）でございます。

自主事業支出でございます。予算額８８３万５,０００円に対して決算額は５３６万４,２１９円、差異を３４７万７８１円でございます。

積立金支出は執行がございませんでしたので、ゼロ円でございます。

物品販売事業費でございます。予算額７４５万に対して執行率６９.８％、決算額４８６万４,５４１円でございます。主に物品の商品仕入れが中心でございまして、決算額３９８万１,７１８円は商品仕入れにかかった仕入費４３１万９,０５９円から期末残高、昨年度との差額の３３万７,３４１円を引きました３９８万１,７１８円となっております。支出は９３.９％となっております。

また、委託料はミュージアムコーナーの改修委託ということで、設計及び製作の費用を委託ということで当初は想定しておりましたが、家具製作にかかわった費用に関しては投資活動支出になるために実際は改修設計にかかわる委託に関する費用の支出となりましたので、決算額としては２７万４,０５０円、差異としては１５０万５,９５０円となりました。

公租公課に関しては法人税均等割分を含めて13万3,700円、消費税の特別会計分2万3,201円ということで、決算額は15万6,906円となっております。昨年の費用に関して言えば、20万程度少なくなっている状況でございます。

それから、事業活動支出の計が、決算額が53万6,219円、事業活動収支の差額が31万5,411円となりました。

次に、Ⅱ投資活動収支の部でございます。

投資活動収入はゼロ、投資活動支出に関しては、什器備品の購入支出ということでミュージアムグッズの改修の什器備品費にかかわる14万5,688円ということでございます。支出が14万5,688円でございますので、投資活動収支の差額がマイナス14万5,688円となりました。

次に、4ページをお願いいたします。財務活動収支の部はゼロ円でございます。

予備費支出はゼロ円でございます。当期収支差額はマイナス11万3,277円ということで、前期繰越収支差額45万3,237円からこの金額を引きました34万2,960円が次期繰越収支差額となります。これまでの繰越金を利用した形でミュージアムショップの改修にかかわる什器の備品を整えたという形になっております。

次に、5ページをごらんいただきたいと思います。

正味財産増減計算書です。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの一般会計と特別会計を連結した事業全体の収支、資産の増減をあらわしております。

I 一般正味財産増減の部です。

経常増減の部、1 経常収益でございます。個々の今年度の金額に対しては先にご説明しました収支計算書の内容でございます。右側の欄に増減の主な理由を記載しております。増減の大きな項目についてご説明させていただきます。

諸収入の雑収入でございます。これは移動ケースが破損したということで対物賠償保険の支払いがあったということで41万9,392円の増となっております。

自主事業収入では前年比の売り上げ減ということでございますが、文アルラボでのグッズの販売やそれに連動した自主事業のグッズの販売増ということがなかったということでこの金額の減となっております。

以上で、ちょうど半ばでございますが、経常収益の合計が、当年度が1億2,942万7,834円に対し前年度1億3,700万8,083円、増減としてはマイナス758万249円でございます。

もう1つ大きい理由としましては、受託事業収入の受託事業展覧会受託、高鍋町の美術展覧会の受託が終了してマイナス350万というのも大きい金額かと思えます。

次に、2経常費用でございます。

管理費、人件費でございます。これは人件費に関しては期末手当、昇給等による増が主な増減の理由でございます。

社会保険料支出に関しては予算の段階では収支は非常に残りましたが、前年度に比べまして64万5,468円増ということでございます。これは昇級や時給増による増ということと、介護保険対象者が1名増になったということで比較的大きな増になっております。

次に、事務費でございます。事務費は951万1,263円の当年度、前年度は989万8,630円ということで、前年度より38万7,367円減でございます。

これもどちらかという次のページ、6ページの一番上の公租公課、消費税等の減ということが大きくなってございまして、これがマイナス25万683円というところが増減の大きな理由となっております。

次に、事業費でございます。1,629万4,518円に対して前年度が2,045万2,639円、415万8,121円の減でございます。

これは、1つは情報提供システム事業費で92万5,869円の減となっております。システム機器が再リースになりました。これによって1年間再リースということで大きく減額になりまして75万6,617円、それから、システムの一部入れかえの作業という、その前年度に大きな、その単年度のみ作業がございましたので、そういったものの費用が発生しなかったということで92万5,869円の減となっております。

次に、受託事業費でございますが、昨年度は受託事業が終了により全額差額としてマイナス306万7,431円となっております。

施設管理費でございます。2,028万5,349円、前年度に対しては141万2,370円のマイナスでございます。これは隔年実施の環境調査と燻蒸の作業の費用差による減が主なものでございます。

それから、自主事業費でございます。当年度545万4,574円に対してマイナス111万2,795円ということで、文アルによる売上減に

よる仕入れの費用の減ということでございますのと、あと、消費在庫の増ということでこれだけのマイナスになっております。

反対に著作権使用料が増えておりますが、文アルのタイアップによる著作権使用料、それから、長い間在庫がゼロになっておりました2種類の複製色紙を作成しました関係で、そこで著作権料の増が一括での支払いということで増となっております。

あと、委託料に関してはリニューアルに関する委託費が発生したということ、それから、公租公課については収益減による法人税や消費税の減によるものでございます。

それから、減価償却費という新しい項目が今回出てまいります。表の中ほどの下、自主事業の欄でございますが、物品販売事業費の最後に減価償却費を計上いたしました。ショップコーナーの什器備品の減価償却費の当年度分9万355円を記載しております。耐用年数は8年で、什器取得の費用を8年分で割った金額となります。

以上で経常費用計は1億2,523万4,777円で、前年度に対して580万731円の減となります。

当期経常増減額は419万3,057円で、前年度に対して177万9,518円の減となります。

次に7ページをお願いいたします。

当期経常増減額の419万3,057円から返還金396万8,001円を引いた金額が当期正味財産増減額となりまして22万5,056円となります。昨年度についてはやはりマイナスの104万3,777円となります。

一般正味財産期首残高は466万5,806円で、一般正味財産期末残高は489万862円となります。

Ⅱ指定正味財産増減の部です。

一般会計の繰出金に当たる額7万円がこちらに入ります。これは税金対策によるものでございまして、指定正味財産期首残高は498万9,768円で、7万円を超えた505万9,768円が期末残高になります。

Ⅲ基本金増減の部でございます。

財団発足に当たり調布市より基本財産300万円を出資された金額です。当期の増額はございませんでしたので、基本金の期末残高は300万円となります。

次に、Ⅳ正味財産期末残高は1,295万630円となります。前年度より29万5,056円の増となります。

次に8ページをごらんいただきたいと思います。平成30年度の貸借対照表でございます。平成31年3月31日現在の負債を含めた資産の合計をあらわしております。現在の資産などがどのような状態になっているかを示すものでございます。

I資産の部、1流動資産でございます。現金預金の合計が2,501万4,928円となり、その内訳が小口現金、普通預金、定期預金となっております。

2未収金が57万8,048円、商品が139万156円、仮払金21万7,619円でございます。平成31年度の初日が休館日の月曜日に当たるため、週末に必要な釣銭と手許金を仮払いとしております。

5前払金は31年、やはり4月1日からの保険料5万6,380円を前もって支払う必要があった費用でございます。

以上、流動資産合計が2,725万7,131円となり、前年度の3,038万9,033円からの増減額は313万1,902円の減となります。

次に、2固定資産です。

基本財産300万円は安全に運用するため、SMB C日興証券で大阪府公募公債を購入し運用しております。投資有価証券購入額の299万5,202円に当たります。増減の4,798円の差額は普通預金口座で管理しております。

次に、什器備品費135万5,333円です。平成30年度の決算から記載されることになりました。購入費から当期の減価償却費を引いた額となります。

リース資産はパソコン、車両、コピー機のリース資産で910万7,722円と前年度から123万5,526円の減となります。

以上で固定資産の合計は1,345万8,257円、前年度から11万9,807円の増でございます。

流動資産を加えた4,071万5,388円が資産の合計で前年度より301万2,095円の減となります。

次に、Ⅱ負債の部でございます。

1流動負債は3月31日現在で払っていない金額でございます。流動負債の内訳は1から5でございます。流動負債の合計は2,776万

4,758円となっております。同額が負債の合計となっております。

Ⅲ正味財産の部でございます。基本金300万でございます。先ほど申しましたように投資有価証券と預金口座の普通預金の口座で管理しております。

2指定正味財産、寄付金でございます。指定正味財産合計が505万9,768円。

3一般正味財産、その他一般正味財産が489万862円。

正味財産合計が1,295万630円でございます。これは前のページの正味財産増減額の計算書の正味財産期末残高と同額になることをご確認いただければと思います。

以上で負債及び正味財産合計が4,715万388円、資産合計と同額になります。

次に9ページでございます。財産目録は平成31年3月31日現在の資産と負債の内訳になります。

I資産の部、1流動資産、現金預金の2,501万4,928円で、内訳は小口現金、普通預金、定期預金。それから、未収金、商品、仮払金、前払金に関しては先ほどの前ページの貸借対照表のほうでご説明いたしましたので、割愛させていただきます。

以上をもちまして、流動資産の合計が2,725万7,131円。

固定資産が投資有価証券ということで299万5,202円、これは利益は償還時に確定するためにこの金額になっております。

その他固定資産ということで什器備品が135万5,333円、リース資産が901万7,722円。

固定資産の合計が1,345万8,257円、資産の合計が4,071万5,388円でございます。

Ⅱ負債の部、流動負債が未払費用に関しては1,714万9,435円。内訳は管理費以降の内訳でございます。

預り金が119万8,801円。社会保険料や市民税の預り金ということの合計でございます。

未払消費税等が17万5,100円、未払法人税等が13万3700円、リース債務が910万7,722円ということで、流動負債の合計が2,776万4,758円、負債合計が2,776万4,758円の同額で、正味財産合計が資産合計から引きますと、1,295万630円となります。これは7ページの最後の行でございます、平成30年度の正味財産増

減期末残高と同額になります。

次に10ページをごらんいただきたいと思います。財務諸表に関する重要な会計方針が記載されております。この会計は公益法人会計を基準として採用している。棚卸資産の評価方法、消費税の処理方法などを記載しております。新たに固定資産の減価償却の方法が記載されております。

次に11ページをごらんください。4月25日に行われました、新井監事、源後監事による業務監査及び会計監査の結果につきましての監査報告でございます。

以上、雑駁ではございますが、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の収支決算の説明とさせていただきます。

○武者小路理事長 ただいま事務局から議案第8号の説明がありました。

続きまして、新井監事から一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条の規定により平成30年度収支決算につきまして監査報告をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○新井監事 はい。それでは、平成30年度の決算監事報告を申し上げます。

監事を代表いたしまして、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づきまして、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における業務監査及び会計監査の結果につきましてご報告を申し上げます。

去る4月25日、調布市武者小路実篤記念館におきまして関係帳簿をもとに平成30年度の決算につきまして事務局より説明を受けました。記載された全ての内容につきまして慎重に監査をいたしました結果、事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当だと認められる内容になっておりました。公益法人会計基準及び関係法令に基づき、一般財団法人武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認め、事務処理上、あるいは係数上、いずれの点につきましても適正に執行されているものと認められました。

以上、監査報告です。

○武者小路理事長 ありがとうございます。

ただいま新井監事からご報告がありましたが、決算全般についてご質問ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武者小路理事長　特にないということですので、異議なしと認め、議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書（案）の承認について」は了承することと決定いたしました。

議案につきましては以上となります。

続きまして、報告事項ですが、事務局から報告についてお願いいたします。

○事務局長　はい。それでは、報告事項として1件報告させていただきます。

報告第1号「令和元年調布市議会第2回定例会に提出する一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について」でございます。

これは調布市による財政管理団体である私ども一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成30年度における事業と収支決算、あわせて令和元年度の事業計画、予算に関する経営状況について、来る令和元年6月に開催される予定となっております令和元年調布市議会第2回定例会に報告案件として提出する必要があるため、提出するものでございます。報告の中身につきましては本日承認していただいた議案の事業報告、それから、決算書の内容をもとにして経営状況報告を作成しているものでございます。

こちらの報告は以上でございます。

次に、その他報告として本日お配りいたしました当日配布資料の簡単なお説明をさせていただきますと存じます。

まず、春の特別展の図録でございます。現在開催しております「実篤がみた女性たち」の展覧会の図録でございます。若手2人が手分けをして展覧会の準備をし、さらにパンフレットも作成したということで、若い人たちの力が、また、視点が新たに加わった内容となっているかと思えます。

次に、館報第36号、本日ご報告いたしました平成30年度の事業の報告を中心にご案内をしております。

次に、多摩川イベントラリーのパンフレットでございます。これは毎年この時期の事業としては皆さんよく聞かれているかと思いますが、パンフレットはなかなかお配りする機会がなかったんですが、多摩川の流域自治体交流ということで流域の市町村が集まってやっております。各市1つずつのイベントということで、実篤記念館、4年ほどですか、調布市の企画ということで挙げていただきまして、このスタンプを押してもらって、2つ集まると応募券がもらえてということの企画でございます。これでわりとお客様がこれを目指して、かつ記念館を見ていただくということ

で、非常に広報媒体としては広く活用されますので、参加している価値があるラリーかなというふうに思っております。

次に、ミュージアムアドバイザーの報告でございます。毎年事業を中心にミュージアムアドバイザーの報告をいただいております。ただ、平成28年度の空調改修、その後の平成29年度のなかなか安定しない空調機器や、また、施設の老朽化、設備の老朽化ということで、なかなか私どもとしては専門の方に一度点検、それから、どういうところを注意したらいいのか、また、計画的にやっていったらいいのかということでアドバイスを受けて調査をしていただき、それに対して指針となるアドバイスをいただきました。

アドバイスをいただきましたのは、これは株式会社八武組となっておりますが、実際はこちらの本館、それから、資料館の増築工事にかかわった坂倉建築研究所の出身の方がやっております。服部さんという方なんですけども、この方は増築以降さまざまな改修やこちらが水害に遭ったときの大改修などのときにも担当者ということでずっとかかわってくださったので、実篤記念館の建物や施設に関しては非常に詳しい状況の方でございます。ただ、前回の空調に関しては携わっていないということもございまして、第三者的な立場で非常に忌憚のない報告をいただいているかと思えます。特に空調に関しては不安定という問題がありますので、何らかの形で対応が必要ということと、あと、展示品の保管の状況ということが非常に高く最近では求められておりますので、そういった対応を計画的にやっていったほうがいいということでございました。

建物本体、それから、設備や建物設備などについてそれぞれ調査項目、天井の問題点など、現状の問題点なども聴取し、改善案の提案、それから、短期的な改善が必要なもの、計画的、中長期的な改善ということで1つの目安ということが私どもとしては得ることができたかなというふうに考えております。

5ページ以降に関しては空調設備が不安定であるということでもう少し専門的な立場でいろいろこれまでの経緯や問題点、それから中期的な改善点の検討などを具体的に出していただけたと思います。これは非常に予算を伴うものでもございますし、市側と計画的にいろいろご相談をしていき、また、私どももこれをもとに中長期的な施設管理の取り組みということをもとめていきたいと思っております。特に指定管理が10年間ということで、長きにわたりますので、そういった中長期的な視点から施設の管理、

設備の管理ということを考えていく上での1つの最初の一步かというふう
に考えております。

その他報告は以上でございます。

○武者小路理事長 どうもありがとうございます。

ただいま事務局から報告事項の説明がありました。ご質問ございません
か。

(「ありません」の声あり)

○武者小路理事長 特になしということですので、異議なしと認め、以
上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。

それでは、これをもちまして、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
令和元年度第1回定時理事会を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(午後2時37分 閉会)